

【法的根拠】
 日本国憲法、教育基本法、
 学校教育法、こども基本法、
 学習指導要領（総則、総合
 的な学習の時間の目標）、
 生徒指導提要、
 立川市の教育の指針

立川市民科全体計画

学校の教育目標

《 やさしく 》 互いに人格を尊重し、協力する人になろう
 ◎ 《 かしこく 》 自ら求め自ら学び、道を切りひらける人になろう
 《 たくましく 》 心身ともに健やかで、責任感のある人になろう

【地域、学校、子どもの実態】
【教師、保護者の願い】
 子どもの成長を願い、地域が見守り、関わり、応援する」という姿勢がある。新校舎ができ、地域コミュニティの活動拠点が設置された。若葉町』に親しみをもち、町に住む人々に礼儀正しく接し、地域のためにできることを考え、行動してほしいという保護者の願いがある。

立川市民科で育成を目指す5つの資質・能力及び学校の教育目標を踏まえ、 学校が立川市民科で育成することをめざす資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
地域と関わることやよりよい地域づくりについて考えるために必要な知識及び技能を身に付けるようにする。	自己の将来の生き方についての課題を見出し、働くことやよりよい地域づくりについて探求的に考えることを通して思考力、判断力、表現力を養う。	地域と関わる課題解決活動を通して、よりよい地域づくりの担い手として、自ら考えようとし、世界の人々との関わり方についても考えようとする態度を養う。

各学校において定める内容

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

学年	探究課題	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
1	農業体験を通して、食物や自然に感謝の気持ちをもつ。地元立川の良さや文化について考える。	食物を育てる過程を知り、農業についての知識を深める。立川および多摩地区の歴史や文化について知識を深める。	自然やボランティアの方への感謝の気持ちを文章で表現し伝える力を高める。	立川および多摩地区への愛着を深める。地元についての関心を高め、より知ろうという意欲をもつ。
2	職場体験を通して、働くことの意義について考える。普通救命講習を通して、適切な対処法を学ぶ。	働く上でのマナーや適正な職業観を身に付ける。人命救助の正しい知識を身に付ける。	自己の適性や将来について考え、体験を通して得た勤労観や職業観を表現する。人命救助の場面での正しい判断力を身に付ける。	自己の進路選択に向けて、自己の適性を考慮して選択できる力を身に付ける。人命救助の場面で、率先して行動しようとする意識を高める。
3	古都の歴史や文化を知り、地元立川との比較をし、あらためて立川の良さや文化について考える。	古都の歴史・文化の知識を深める。立川との比較をし、立川の文化について再発見する。	公共交通機関を用いての適切な行動計画を設定する力を高める。体験したことや感じたことを班で表現し、他者の発表と比較することで考えを深める。	進んで計画し、主体的に行動する力を身に付ける。立川から他の地域へ範囲を広げ、文化や歴史についてより学ぼうとする意欲を高める。

各学年の学習活動

学年	単元名
1	「農業体験を伝え、食物に感謝しよう」「立川シビックプライド」
2	「職場体験を伝えよう」「普通救命講習」
3	「調べ学習・レポート作成」「歴史・伝統・文化理解」

人的資源の活用
 ・農園活動：地域の農園ボランティアの方々
 ・ミニカルチャー講座：立川市生涯学習センターからの講師派遣
 ・職場体験：ハローワークの方による事前マナー講座

物的資源の活用
 ・近隣の農家の方の土地をお借りしての農園活動
 ・学習発表会で、電子黒板や大型モニターを活用して生徒の作品を展示する。
 ・修学旅行で、Chromebookを活用してのコース決め。

家庭・地域とともに学ぶ取組
 ・ミニカルチャー講座で、保護者の参観も行う。
 ・収穫祭でのPTAボランティアを募り、感謝の集いを行う。
 ・学習発表会で、展示作品を保護者と共有する。

校内の推進体制
 ・進路指導部を中心に、総合的な学習と明確に区別して進める。
 ・小中連携担当とともに、小学校との連携を図りながら年間計画通りに進める。